

今度の休みには、

久しぶりにお城の木立ちを歩いてみないか。

姿は見えないけれど

あのくろぐろとしたクスノキの梢あたりで、

甲高い声のヒヨが

よう来た、よう来た、と迎えてくれる。

ヤブツバキの茂みから、

恥ずかしがりのメジロも

ちらっちらっご機嫌うかがい。

針葉樹の放つほのかなテルペンの香りを思い切り吸い込むと、

人生もまんざらじゃないと思えるよ。

ぼく達の祖先は森の懷に抱かれてまどろみ、

森の恵みで育まれた。

落ち葉を踏みしめると

その遠い記憶がよみがえり、

君の心が暖くなる。

森の木々に、ありがとうを言いたくなる。

私たちが暮らす高知県は、県土の84%が森に覆われています。  
このみどり豊かな土地で、古くから人は四季折々の森の美しさを楽しみ、  
山の幸を味わい、暮らしに木を取り入れ、子孫のために森を育てながら  
生きてきました。

人と木の共生。この素晴らしい伝統を現代風にアレンジし、木を育て、  
木に親しみ、木を生かす、「木の文化」として次の世代に伝えていきたい  
と思います。

一部の山が荒れ、暮らしの中に木が少なくなってきた今だからこそ、  
私たちは改めて、「木は私たちのパートナー」と訴えたいと思います。

## 高知の樹木たち その1 ● 高知城の樹木

# 高知城 の 樹木

森からはじまる



木の文化県  
こうち